四　笑い話　その他の昔話

はっきりした筋をもった昔話のほかに、面白さをねらった笑い話や、大ぼらふきの活躍する話、終りのない果てなし話なども数多く伝えられている。その中から一つだけ紹介する。

屁ったれじさま

昔、あったどしゃ。じっちゃとばっちゃとあったどしゃ。ばっちゃ、じゃしき（邪魔）はいたどしゃ。したきゃ、豆っこふとつ（一つ）出はったどしゃ。「じっちゃ、豆って炒ったらいいべが、煮たらいいべが」「うーん、炒って、豆の粉にひば（すれば）いいな」ばっちゃは、大っき鍋かけて、豆ばひで、カラカラカラと炒ったけど。

ばっちゃは「じっちゃ、炒れだために、臼出してけろ」と言ったど。じっちゃ、おなご（女）臼出してくれだで、ばっちゃは「じっちゃ、豆っこみんなつぶれだども、はあー、しの（言）、ねぇだしなあー」と、ひったけど。

「じっちゃ、豆っこみんなつぶれだども、はあー、しの、ねぇだしなあー」と、ひったけど。

「うだな（そうか）。したら、おれ小袴（こばかま）おろす」と、じっちゃひったど。フンドシさ、豆の粉入れて、はしごさゴシゴシやったら、粉っこ下の方さ出だど。したっきゃ、じっちゃ、ボーンとおっき屁（へ）たえだど。したば豆の粉、みんな飛んでしまったど。

（平成二年、十和田松山・内藤ミヨ氏談）

どっとはらぇ。